

独立行政法人国際協力機構

# アフリカ地域先進農業技術の導入促進 に係る基礎情報収集・確認調査 ＜進捗報告＞

2021年2月17日（水）

GFVC推進官民協議会アフリカ部会

JICA食と農の協働プラットフォームアフリカFVC分科会・農業機械分科会

アフリカビジネス協議会農業ワーキンググループ

（株） かいほつマネジメント・コンサルティング

# 調査概要

## 調査の目的、調査対象国、調査期間

### ■ 背景

- ・ TICAD7（2019年8月）で「アフリカ農業イノベーション・プラットフォーム構想」が発表され、「先進農業技術の導入」を推進することとなった。
- ・ その実現に向け「日・アフリカ農業イノベーションセンター（AFICAT：Africa Field Innovation Center for Agricultural Technology）」設置にかかる調査を実施することになった。



### ■ 本調査の目的

- ・ サブサハラアフリカ（SSA）において、農業生産性や農産品の品質向上に資するべく、先進的な技術や農業機械化の推進のため、AFICATの設置にかかる情報を取りまとめる。
- ・ AFICATは日アフリカの官民で推進し、本邦メーカーのSSA進出の足掛かりとする。



### ■ 対象となる農業機械・調査対象国

主に稲作用の農業機械を対象に、東アフリカ<sup>2</sup>カ国（タンザニア／ケニア）、西アフリカ<sup>3</sup>カ国（コートジボワール／ナイジェリア／ガーナ）の<sup>5</sup>カ国において現地調査を行う。



### ■ 調査期間

2020年4月－2022年3月（現地調査：2021年3月以降）

### ■ 調査受託企業

（株）かいはつマネジメント・コンサルティング

# AFICATの機能（当初案）

※既存の施設・組織に機能を付加する。

※本調査はコメ関連農機を中心に調査するが、農業資材や、コメ以外の農産物も幅広くカバーする。

SSAにおける農業生産性向上（農業機械化を含む）、農産物の品質向上、農民のエンパワメント

本邦企業のSSA進出の足掛かり

①広域  
アドバイス

- 政策アドバイス・実証促進
- 本邦企業のビジネス進出促進
- 農業機械化に関する情報提供、技術的なアドバイス

②展示、実  
証、デモン  
ストレーション

- 本邦企業の製品の展示
- 中核となる施設での小規模（1～2ha）な圃場での実証やデモ

③デモ地区  
圃場におけ  
る大規模な  
実証

- より大規模な圃場（例：10ha）での実証やデモ

④収穫後  
処理施設  
での実証、  
デモ

- 精米設備などを地元企業に貸出し

⑤イバー  
ション・ラボ

- 本邦企業や本邦研究機関による研究開発の場の提供
- 新技術適用可能性のほか、既存製品の現地適合性、現地製造可能性も検証

⑥広報

- 実証試験やデモの結果などを広く外部に発信（含、オンライン）
- SSA市場に関する情報発信

⑦人材  
育成

- 農業・農業機械化政策、農機のメンテナンスなどにかかる幅広い人材を育成（代理店の育成も含む）

AFICAT

# 本邦企業聞き取り調査結果、AFICAT設置案

## 本邦企業聞き取り調査結果

- 聞き取りをした農業機械メーカー18社のうち、SSAに進出している企業は7社のみ。それ以外は**代理店も販売実績もない**。そのため、企業単独でSSA進出を目指すことはハードルが高い。社内の優先順位としては、東アジア、東南アジア、欧米の方が重要という企業がほとんど。
- **SSA現地のニーズや市場に関する情報がないため判断できないという企業が多い。ただし現地の状況次第ではSSA進出、AFICATの活用を検討したいとする企業も一定数存在する。**
- 農業機械メーカーからは、現地での**デモンストレーションの重要性を指摘する声が多く、AFICATの役割に期待**がよせられた。
- 実証に関しては、機械単品だけでなく、**ビジネスモデル、バリューチェーン全体の実証**も必要という声あり。
- （まず東アフリカ、続いて西アフリカではなく）**東も、西も早めに立ち上げて欲しい**という希望あり。
- **ナイジェリア**の治安の悪さを懸念する声がある。**ガーナ**に関心を示す企業が複数あり。
- 金融に関する機能をAFICATに追加して欲しいとの意見もあり。

# 本邦企業聞き取り調査結果、AFICAT設置案

## AFICAT設置に向けた基本方針（案）

- (1) AFICATは**東アフリカ**、**西アフリカ**の両方で稼働を開始する。
- (2) 2022年8月頃にTICAD8が開催されることを想定し、**TICAD8までにAFICATの一部の機能が稼働しているよう、先行してできる機能を稼働させる**
  - ① 実施中／実施予定の技術協力プロジェクトにAFICAT活動の組み込み
  - ② 情報収集・確認調査（AFICATの試行）
- (3) JICA筑波の圃場、施設、JICA筑波の研修事業を抱き合わせたAFICATの機能を検討する。



# 本邦企業聞き取り調査結果、AFICAT設置案

## AFICAT設置に向けた基本方針（案）

(4) 本邦企業様からの聞き取り調査の結果を踏まえ、既存の7つの機能を見直し

- ・ ビジネスモデルやバリューチェーン全体の実証、デモを含む
- ・ 金融（情報提供）を追加

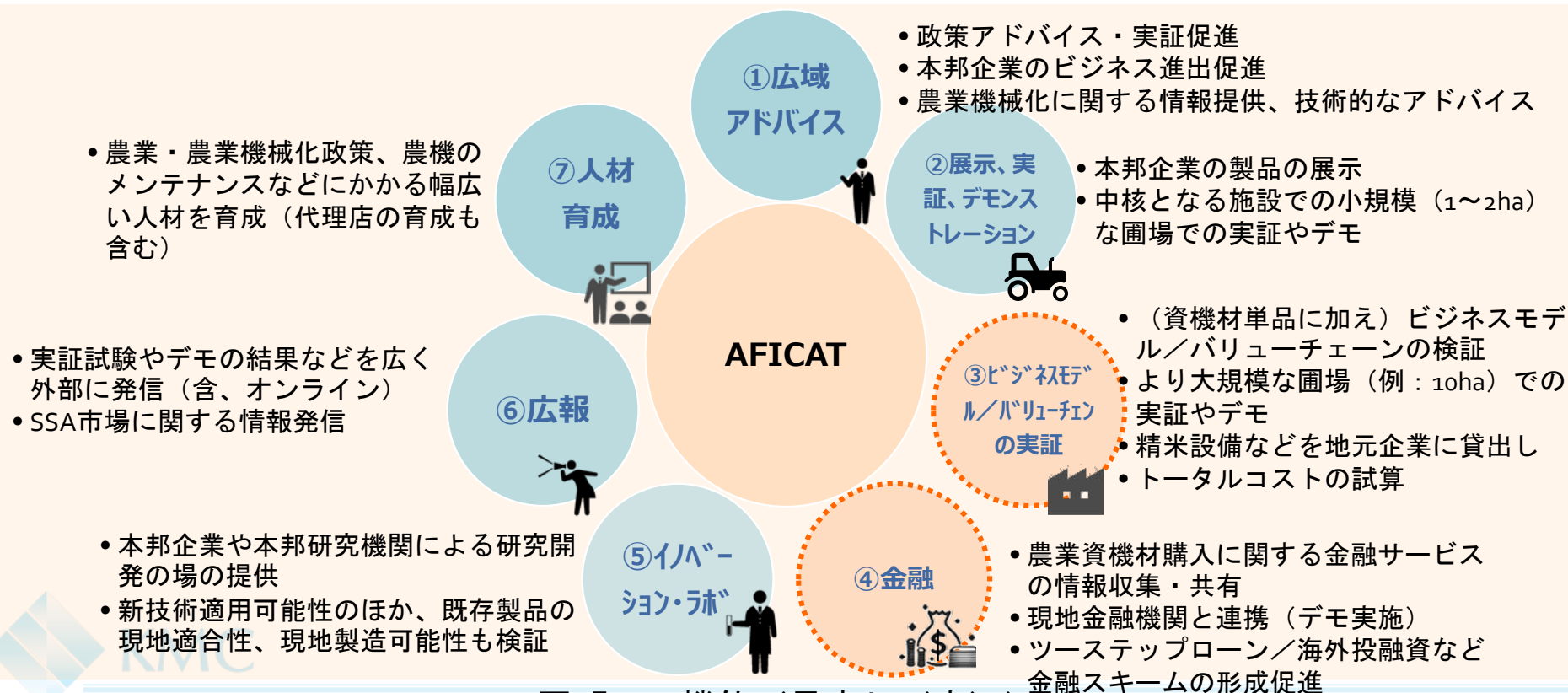


図 7つの機能（見直し（案））

# ご清聴ありがとうございました。

AFICATにご関心がある本邦企業、大学／研究機関、  
業界関係者、関係機関の皆さま  
お気軽にご連絡ください。

(株) かいはつマネジメント・コンサルティング  
お問い合わせ窓口

tel: 03-5791-5083

高梨 直季 takanashi.naoki@kmcinc.co.jp

脇田 絵美 wakita.emi@kmcinc.co.jp

小林 三恵 kobayashi.mie@kmcinc.co.jp